

シルバー人材センター



シンボルマーク

ニュース

ゆんたく

〈発行所〉

公益社団法人 沖縄市シルバー人材センター

〒904-2155 沖縄市美原3丁目1番1号

電話番号 (098) 929-1361

<http://www.okinawasisi.com>

10月末現在の会員数606人

(男性359人・女性247人)

10月はシルバー人材センター事業の趣旨や意義を広く地域社会にアピールする**普及啓発促進月間**。当センターでは月間中、独自の取組みとして「シルバーの日」の中央パークアベニュー周辺の清掃、独居高齢者宅の草刈・清掃活動、市役所での「普及・啓発展示パネル展」を実施するなどの普及啓発活動を行った。月間中、ボランティアに延べ101人が参加した。

また、連合主催の「設立20周年記念式典及び会員経験交流大会」や沖縄市社会福祉協議会主催「第34回沖縄市福祉まつり」にも積極的に参加した。

(2・3面に詳細)

盛り上がった「普及啓発促進月間」
ボランティアに延べ101人



シルバー人材センターの理念

自主 自分のものとして考え

共働 一緒になって働き

自立 自分たちの力で育てる

共助 お互いに助け合う

「普及・啓発パネル展」 市役所1Fホール

センター会員の活動を紹介

センター会員の活動状況を紹介する「普及・啓発パネル展」が10月4・5の両日、市役所1F展示コーナーで開催された。初日の午前10時から行われた開会セレモニーには129人が集う中、桑江良哲理事長は「会員・役職員が一体となって市内に広く周知・啓発を行い、シルバー人材センターの活動の趣旨や意義について、さらに理解を求めていくことが重要」と挨拶した。



相談コーナー

相談コーナーでは60歳代後半の方が訪れ、就業内容や入会手続きなどについて聞き入っていた。

センター事業の趣旨や意義をアピール

「シルバーの日」 清掃ボランティア

中央パークアベニュー通り清掃に87人

10月21日午前8時半、パークアベニュー通りにある「ゆんたくまちや」前に、当センターの桑江良哲理事長を先頭に多くの会員がゴミ袋や清掃用具を手に集合。台風接近前の天候不順が心配されたが、普及啓発促進月間のボランティア事業として毎年実施している中央パークアベニュー周辺の美化作業を今年も行った。総勢87人が約2時間かけて清掃。すっかりきれいになった通りに、我々盛永センター自治会長、浜比嘉進コサ商店街連合会長は「シルバーの皆さんに感謝するとともに、地域の活性化のためにもシルバーの方々の期待は大きい」と参加者の労をねぎらった。



作業に先立って、うちな〜ぐちラジオ体操



次々運び込まれるゴミ集積所では分別作業もしっかりと行われた。

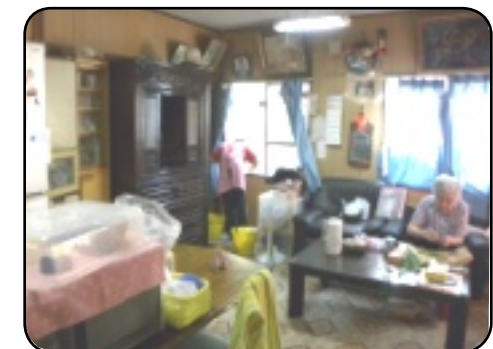


ゴミ袋を手に空港通りでゴミを拾い集める参加者

独居高齢者宅 清掃・草刈ボランティア



(写真右から) 島袋静子さん、喜屋原さん、中石豊子さん



福祉・家事班2人が室内清掃

公園草刈班5人と福祉・家事班2人の合わせて7人が10月26日、宮里の喜屋原さん宅で敷地内の草刈、剪定作業と室内の清掃を行った。喜屋原さんは、「清掃できずに困っていたところシルバーの皆さんにきれいにしていただき、ありがとうございます」と感謝していた。



(写真右から) 宮里澄子さん、與儀豊さん、植原教宏さん、徳元将行さん、外間政廣さん

公園草刈班5人が敷 地内を草刈・剪定



今年も大盛況 沖縄市福祉まつり



第34回「沖縄市福祉まつり」(沖縄市社会福祉協議会主催)が10月14・15の両日、美里公園で開催された。当センターも参加、弁当班による手づくりの佃煮やふりかけ、サターアンダギーのバザーが設けられ好評を博していた。

また、各種広報チラシ配布のほか、会員の小物、バッグなど手工芸作品の展示もあり、センター事業のPRを行った。

(写真右から) 玉城テル子さん、与座由佳さん、塩川初江さん、知名ヤス子さん、池味訓子さん



弁当班メンバーの後方には啓発展示パネルも掲げられた。

第7回 理事会

対前年大幅に割り込む
ー10月実績ー

第7回理事会が10月24日、シルバーワークプラザ会議室で開催された。

議案第1号「正会員の入会」については、5人(男性3人・女性2人)が承認され、その結果10月24日現在の会員数は606人(女性247人・男性359人)となった。尚、9月の退会者は0人。

平成29年9月の主な実績では、会員数601人で22人の減(▲4%)、就業実人員356人で42人の減(▲12%)、就業延人員394人で348人の減(▲9%)、配分金約1896万円で約195万円の減(▲10%)、契約金額約2320万円で約273万円の減(▲12%)となった。(いずれも対前年同月比)最後に当面の日程が確認された。

- ・日時 11月30日(木)・12月1日(金)
午前9時～12時
- ・場所 シルバーワークプラザ 大会議室
- ・対象者 電話受付従事者会員(必須)及び
電話受付従事希望者
- ・連絡先 事務局 929-1361



電話受付従事者必須 「電話応対講習会」

電話対応及び技能の向上を目指す

電話受付業務における多様なニーズやきめ細かなサービスに対応できるよう、また電話応対のマナー向上のための講習会を開催します。就業を希望する会員の皆さん、是非この機会にご参加ください。

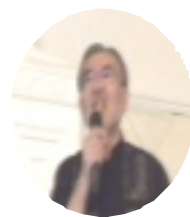
「連合設立20周年」を祝い記念式典

公益社団法人沖縄県シルバー人材センター連合設立20周年記念式典及び経験交流大会が10月25日、那覇市内のマリエールオークパインで開催された。当センターから桑江良哲理事長をはじめ、役職員や会員らが参加した。

第1部の記念式典・経験交流大会では、翁長盛正連合会長が連合設立20周年を喜ぶとともに「高齢化に伴う一億総活躍社会の時代要請に込めていこう」と呼びかけた。団体表彰、設立20年のあゆみの報告などの後に、西原町SC会員の島袋政幸さんが「エコ・かえるくん事業を通して」をテーマに経験発表した。第2



部では、琉球大学名誉教授（医学博士、やんばるヘルスプロジェクト代表）の平良一彦氏による記念講演があり「ユイマール地域づくりでチャールガンじゅう」を演題にユイマールこそ福祉、健康づくりの原点である、と強調していた。第3部は、祝賀会が盛大に行われた。



平良一彦氏

講演抜粋

沖縄の長寿を支えてきた背景

- ① 年中温暖な気候、年平均気温22・4度、年較差が小さい冬の厳しい寒さがない
- ② 豊かな自然環境、海・森・川の豊かな自然環境を有する風光明媚な海岸線 多様な生態系
- ③ 特色ある食文化 医食同源の思想 バランスの良い摂取
- ④ 高い社会活動性 自給自足の農業 生涯現役の精神 伝統行事への参加 コミュニティ活動が盛ん
- ⑤ 共存型社会 シマ意識が強い ユイマールの風習 伝統行事が根づく 共同売店等でのコミュニケーション
- ⑥ 精神風土（沖縄独特） テーゲー ナンクルナイサ イチャ リバチョーデー 命どう宝 祖先崇拝

結い、ユイマール

『ユイマールを生かした地域づくり 最後まで安心して地域で暮らすために』

沖縄に残る方言で地域共同体としての相互扶助を意味する言葉。現在は、助け合いの意味でよくつかわれることが多い。

ユイマールの心

- ① 自助 自らの生活・健康は自ら維持する。
- ② 互助 近隣の助け合いやボランティア（インフォーマルな相互扶助）
- ③ 共助 制度やサービスとしてシステム化された支え合い
- ④ 公助 生活保護に代表される公的支援

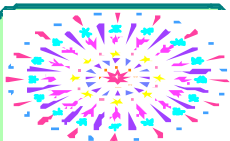
安慶田中校地区

グラウンドゴルフ大会開催

- ・日時：11月12日（日） 午前11時集合
- ・場所：美里公園
- ・会費：1,000円（昼食代含む）
- ・申込：11月7日（火）迄

沖縄市東部まつり

- 日時 11月4・5日（土・日）
- 会場 県総合運動公園 多目的広場
- 主催 沖縄市東部まつり実行委員会



ふるさとのウチナー料理を学ぶ 海外移住者子弟研修生が料理実習

沖縄市出身の海外移住者子弟の第1回目の料理実習が10月6日、シルバーワークプラザ調理室で行なわれ、3人の研修生が沖縄料理に挑戦した。「研修生が郷土文化や日本の生活・習慣等を理解するとともに市民との交流を深める。また移住国の発展に貢献しうる人材育成と国際交流、次世代への文化継承、ウチナーネットワークの構築を図る」ことを目的に実施する市の委託事業。この実習は11月24日まで毎週金曜日全6回行われる。



(写真右から) 塩川初江講師、アルゼンチンから参加のアナロミナパンノ内間さん、ソフィアアケミメンドーサ比嘉さん、ブラジルから参加の安慶名ルカス秀樹さん、新垣敏子講師補助



沖縄そばの具材
かまぼこ、ネギな
どの刻み方を塩川
初江講師に指導を
受ける研修生

あなたの生活を真心でお手伝いします。 福祉・家事サービスとは・・・



シルバー人材センターが21世紀の高齢社会を支え、より地域に根ざした存在として、今後も一層発展するためには、この福祉・家事援助サービス分野は欠かせない。

福祉・家事援助サービスは「ボランティア精神を踏まえた有料サービス」。また、地域における福祉行政や福祉関連サービス組織・団体の活動を補完する役割を担う活動として位置づけられる。

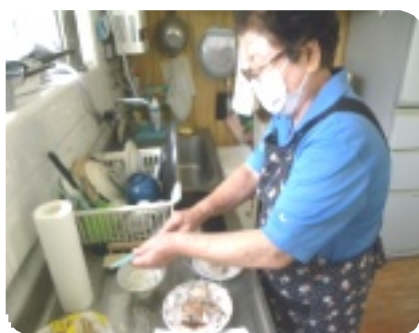
明るい話題を供しながら食事を勧めているのは、訪問介護員研修課程修了者でホームヘルパーの田河八重子さ

お洗濯

食事介助

お食事の準備

お掃除



就業現場
めぐり壁面緑化パネルに草花の植栽
コザ運動公園

「観光地としてのイメージアップを図ろう」と、沖縄市の玄関口である沖縄自動車道南インターに接するコザ運動公園内の壁面緑化パネル植栽作業を、当センター会員が年4回行っている。この作業は、沖縄市からの委託業務として周辺の壁面を草花で装飾することで緑と花いっぱいのがーデンシティーを創り出そうというもの。



壁面緑化作業に当たるシルバー会員の皆さん

2018年 会員手帳
申込受付中

主な特徴

- ◇ 文字が大きく、見やすい
- ◇ 月別カレンダーにメモ欄と備忘欄を新設
- ◇ 体験等記録欄を新設
- ◇ 便利なポケット付きでカード等が挟み込める

- ・ 申込締切日：11月30日
- ・ お値段：320円（税込）
- ・ お申込みは事務局（与座）

「見逃すなヒヤリで済んだあの経験」
全国統一スローガン



膨大な数に上るポットへの草花移植作業に余念がない作業員。

新入会員紹介

10月は5人（男性3人・女性2人）が新会員として入会しました。地区の皆さんよろしく。

喜屋武 清美（美里中校地区）
山田 功（山内中校地区）
新垣 盛和（山内中校地区）
比嘉 律子（安慶田中校地区）
真部 かよ子（越来・宮里中校地区）

「刈払機取扱作業員に対する
安全衛生教育」のお知らせ

「技術・技能及び
安全面の向上を目指す」

- ・ 開催日 平成29年11月29日（水）
午前9時～午後4時
- ・ 場所 シルバーワークプラザ大会議室
- ・ 参加希望者は11月27日（月）までに事務局（城間）迄お申し込みください。

無事故記録

平成29年4月18日
～10月25日現在

193日

60歳! 人生これから!

シルバー人材センターへ 入会しませんか?

1週間に**2・3日**
働けたらいいのに!

「この歳で働ける!仲間が出来た!孫に小遣いをあげられた!」年をとると実感も時間もユツタリと訪れます。60歳以上、沖縄市在住で健康で働く意欲のある方ならどなたでも歓迎。安全で簡単、軽易な仕事があります。ぜひお話を聞きに来てください。

毎日なにも
することがない!
退屈だ!

でも、
きつい仕事は
ムリ!



現在のシルバーでの主な仕事

- 軽い労働
- 家内外の掃除、片付け
- 草刈り、植木の手入れ
- 大工仕事、他
- 一般
- 電話受け付け
- パソコン、スマホ講師
- 宛名、賞状書き
- 訪問介護
- その他いろいろ



編集後記

秋の気配を感じつつも10月は、連日30度を超す記録づくめの真夏日が続き、終盤は台風接近、衆院選と慌ただしかった。そんな中で、センター事業普及啓発促進月間にあたり、当センターでは普及・啓発パネル展を皮切りに、福祉まつりへの参加や「パークアベニュー・一番街周辺清掃ボランティア活動」など多彩な取り組みが展開された。それらの事業は当センターにとって「実りの秋」に相応しい有意義な月間でもあったように思えた。

編集

上原 秀雄
東條 正躬
大城 博

11月の予定

10日(金) 午前10時
新会員入会説明会
24日(金) 午前10時
理事会
29日(水) 午前9時
刈払機取扱い作業者
に対する安全衛生教育